

あま市

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する実態調査

～ご協力のお願い～

日頃から、あま市の福祉行政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和6年3月を目途に計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、日頃より本市の介護保険事業を支えていただいております市内介護支援専門員の皆様に介護サービスの実態やお考えなどをお伺いする実態調査を実施することといたしました。

この実態調査の結果は高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、ご多用のところ誠に恐れいりますが、調査の目的、趣旨をご理解いただきましてご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この実態調査は無記名でお願いするものであり、統計的に処理し、上記の目的以外には一切使用いたしません。

令和5年1月 あま市長 村上 浩司

ご記入にあたって

- 1 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。
その他の場合は、具体的内容を記述してください。
- 2 鉛筆またはボールペンで記入してください。
- 3 調査は、1月31日（火）までにご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、投函してください。
- 4 回答に際してご不明な点やこの調査についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。

あま市 福祉部 高齢福祉課（甚目寺庁舎）

〒490-1198 あま市甚目寺二伴田 76 番地

電話 052 (444) 3141

F A X 052 (443) 3555

(受付時間 8:30～17:15 土・日・祝祭日を除く)

はじめに

～事業所の方針や状況等に関わらず、あなた自身のことについてお答えください～
(以降の設問すべて)

問1 勤務形態は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 専従(常勤) | 2. 専従(非常勤) |
| 3. 兼務(常勤) | 4. 兼務(非常勤) |

問2 介護支援専門員としての経験年数をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～2年未満 | 3. 2年～3年未満 |
| 4. 3年～4年未満 | 5. 4年～5年未満 | 6. 5年～10年未満 |
| 7. 10年以上 | | |

問3 次の資格の中でどれをお持ちですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-------------|----------|
| 1. 主任介護支援専門員 | 2. 看護師、准看護師 | 3. 保健師 |
| 4. 介護福祉士 | 5. 社会福祉士 | 6. 理学療法士 |
| 7. 作業療法士 | 8. 歯科衛生士 | 9. 柔道整復師 |
| 10. 管理栄養士、栄養士 | 11. その他() | |

問3 で「1. 主任介護支援専門」と答えた方と答えた方にお聞きします。

問3-1 主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 地域包括支援センターの主任介護支援専門員との連携体制の構築支援 |
| 2. 主任介護支援専門員の役割の明確化 |
| 3. 主任介護支援専門員の業務を行う為の体制づくり |
| 4. 地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援 |
| 5. 介護予防・自立支援に資するケアマネジメントについての啓発 |
| 6. 主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催 |
| 7. スーパーバイザー等の活動の場の提供 |
| 8. その他() |
| 9. 特にない |

ケアプランの作成について

問4 令和4年12月31日現在で担当しているケアプランの件数は何件ですか。（実数で記入）

【要支援】

() 件 内 あま市民 () 件

【要介護】

() 件 内 あま市民 () 件

問4-1 あま市民の担当件数のうち、在宅での生活が困難で、施設入所が好ましいと思われるケースはありますか。ある場合は実際の件数もご記入ください。（○は1つ。数字を記入）

1. ある ⇒ () 件 2. ない

問5 ケアプランを立てるにあたり、生活機能の状態のほかにも、どのようなことに気をつけていますか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 本人の意見を大事にすること | 2. 家族の意見を大事にすること |
| 3. 要介護状態の改善、もしくは悪化の防止 | 4. 生活背景 |
| 5. サービス利用に係る経済的な負担 | |
| 6. その他 () | |

問6 ケアプランを立てるときに、サービス提供事業所が自分の所属する系列の事業所に偏るがありますか。（○は1つ）

1. ある 2. ない 3. どちらともいえない

問7 ケアプランの作成で困ることがありましたか。（○は1つ）

1. ある ⇒ 問7-1へ 2. ない

問7 で「1. ある」と答えた方と答えた方にお聞きします。

問7-1 その内容を教えてください。

1. 経済的に困窮している
2. 医療依存度が高い
3. 重いBPSD（行動・心理症状）がある
4. 本人がすぐに忘れてしまうので、何回も説明が必要である
5. 在宅の意思が強いが独居等で在宅に限界がある
6. 必要な医療を拒否する
7. 必要な介護・福祉サービスを拒否する
8. 必要なサービスの供給が不足している
9. 家族等が協力的ではなく、キーパーソンがいない
10. 家族等（介助者）の思いが強すぎて本人の意思が反映できない
11. 事業所の方針で自立支援につながりにくいサービスをプランに加えている
12. その他（)

問8 ケアプランに関して悩んだときなどに、どこに相談しますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 地域包括支援センター | 2. 市 |
| 3. 国民健康保険団体連合会 | 4. 地域の連絡会・勉強会 |
| 5. 職場の上司・同僚 | 6. 職場外の介護支援専門員 |
| 7. 相談していない | |
| 8. その他（) | |

問9 ケアプランを立てるときに、介護保険サービス以外のサービス（高齢者福祉サービス等）を取り入れることがありますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 積極的に取り入れるようにしている | 2. 必要があれば取り入れる |
| 3. あまり取り入れない | 4. 取り入れたことがない |

問9で「1. 積極的に取り入れるようにしている」「2. 必要があれば取り入れる」と答えた方にお聞きします。

問10-1 具体的にはどのようなサービスですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 緊急通報システム | 2. 高齢者見守りステッカー |
| 3. ボランティア | 4. 配食サービス・宅配弁当 |
| 5. 寝具洗濯乾燥消毒サービス | 6. 安否確認サービス |
| 6. 友人や地域との交流 | 7. 社会福祉協議会提供のサービス |
| 8. シルバー人材センター | 9. 外出支援 |
| 10. その他（ | ） |

問10 医療機関（主治医）との連携が必要だと思われるケースでは、連携をとっていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 十分に連携をとっている | 2. 連携をとっている |
| 3. ほとんど連携をとっていない | 4. 全く連携をとっていない |
| 5. 医療機関（主治医）との連携が必要なケースがない | |

問10で「1」～「4」と答えた方にお聞きします。

問10-1 連携がとられている、または連携がとられていないと感じる理由は何ですか。

問 11 今後、介護支援専門員と医療機関（主治医）との連携をどのようにすれば強化できると思いますか。

--

問 12 地域包括支援センターとの連携をとっていますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 十分とっている | 2. ある程度とっている |
| 3. あまりとっていない | 4. 全くとっていない |

問 12で「3. あまりとっていない」と「4. 全くとっていない」とお答えの方にお聞きします。

問 12-1 地域包括支援センターと連携しなかった理由は何ですか。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 特に連携することはないから | 2. 日頃連携しておらず、相談しづらいから |
| 3. その他（ | ） |

問 13 今後、地域包括支援センターに期待することは何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防2. 地域支援事業の介護予防を通じた介護予防（健康教室等）3. 主治医との連携4. ケアマネジャーに対する個別指導・相談5. 支援困難事例への相談6. 地域におけるケアマネジャーのネットワークづくり7. 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援8. フォーマルサービスとインフォーマルサービスの調整9. 地域の総合相談窓口10. 支援が必要な高齢者の早期発見と対応11. 高齢者の虐待防止・権利擁護12. その他 |
|--|

高齢者虐待について

問 14 家庭内における高齢者虐待（疑いを含む）の事例に関わったことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 14で「1. ある」とお答えの方にお聞きします。

問 14-1 その時にどこに相談しましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 1. 市 | 2. 地域包括支援センター |
| 3. 保健所 | 4. 警察 |
| 5. 民生委員 | 6. その他（ ） |

問 14-2 高齢者虐待事例に関わったとき、どんなことが課題だと感じましたか。具体的にお書きください。

--

問 15 高齢者虐待の対応としてどのような制度や仕組みが必要だと思われますか。（○は3つまで）

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 関係機関のネットワークの強化 | 2. 対応マニュアルの作成 |
| 3. 介護者への援助の充実 | 4. 住民への啓発 |
| 5. 関係機関や職員への研修 | 6. 緊急一時保護施設の確保 |
| 7. 緊急一時保護の実施 | 8. 日常生活自立支援事業の充実 |
| 9. 成年後見制度への積極的な取り組み | 10. 警察・司法との連携・介入 |
| 11. 介護者を対象とした介護相談の充実 | |
| 12. その他（ ） | |

高齢者施策について

問 16 介護保険サービスの中で、供給が不足していると思われるサービスは何ですか。（○は5つまで）

【居宅介護】

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴 |
| 3. 訪問看護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 通所介護 | 6. 通所リハビリテーション |
| 7. 短期入所生活介護・短期入所療養介護 | |
| 8. 福祉用具貸与 | 9. 特定施設入居者生活介護 |

【地域密着型】

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 10. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 11. 夜間対応型訪問介護 |
| 12. 認知症対応型通所介護 | 13. 小規模多機能型居宅介護 |
| 14. 認知症対応型共同生活介護 | 15. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 16. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | |
| 17. 看護小規模多機能型居宅介護 | |

【施設型】

- | | |
|---------------|--------------|
| 18. 介護老人福祉施設 | 19. 介護老人保健施設 |
| 20. 介護療養型医療施設 | 21. 介護医療院 |

【その他】

- | | |
|--------------|---------------|
| 22. 特定福祉用具販売 | 23. 住宅改修（限度額） |
| 24. その他（ | ） |

問 17 今後、地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービスはありますか。(○はいくつでも)

1. 地域内の集会所や開催者の自宅を使つてのサロン、認知症カフェなどの通いの場
2. 定期的に訪問して安否を確認してもらえるような見守り活動
3. 食事の支度が困難な方や栄養管理が不十分な方への配食サービス
4. 家事や買い物、ゴミ出しなどの家事支援
5. 買い物や通院時の送迎サービス
6. 認知症予防や健康体操などの介護予防講座
7. 緊急時や災害時の支援
8. その他 ()
9. 特にない

問 18 現在、国では地域包括ケアシステムの深化・推進を掲げています。あま市において、どのような取り組みを行うことが重要だと思いますか。(○はいくつでも)

【地域包括ケアシステム】

高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供されるシステム

1. 介護予防事業
2. ボランティアやNPO等による生活支援
3. 家族や近隣住人による高齢者の生活支援
4. 医療と介護の連携
5. 在宅サービス
6. 在宅医療
7. 家族介護者の支援
8. 高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた住環境の整備(住宅改修、施設入所など)
9. 認知症高齢者等の権利擁護
10. その他 ()
11. 特にない

問 19 高齢社会や高齢者ケアのニーズの増大などから、地域包括ケアが求められていますが、あま市において、高齢者の在宅医療や介護に関して、どのようなことが問題だと思われますか。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。